



ぼくがボクである喜び

／ミ まど・みちお

すばらしいことが

あるもんだ

／ミが

／ミだったとは

ソウではなかったとは

この世の中には生きものがごまんといいますが、みんなそれぞれに違っている。もし同じだったらつまらないし、なんの進歩も発展もないでしょう？違うからすばらしいんですよ。人間だってそうで、肌の色や髪の色が違うから、いい。同じ日本人でも十人十色、一人ひとり顔や考え方が違ってると決まってるし、だからこそ価値がある。お互いに補い合い、助け合うこともできる。

それなのに今はみんな、人マネごっこばかりやっとなる。人と自分を比べては一喜一憂したりもする。それは本当に滑稽（こっけい）で悲しい。そして何より、もったいないこと多いと思います。

姿かたちのような目に見えるものを比較した場合、太った人と比べたら自分がやせになるし、やせた人ならデブになる。背の高い人と比べればチビになり、小さい人ならデカになる。人と比べてどうであったところで、その人自身の価値が変わるわけじゃないですよ。むしろ偉くもならん、落ちぶれもせん。そんなことぐらい、ほんとはみなさん、ご存じのはずなのに…。

人と比べて自分のほうが偉いように思ったり、逆にダメなように感じて人をうらやんだり、人のマネをしたりするのは、一生懸命でない証拠なんじゃないかなあ。小さな子どもは遊ぶとき、それに没頭（ぼっとう）して無心で遊びます。あんなふうに自分の目の前のことに一生懸命取り組んでおれば、つまらんこと考えとる暇はないと思うんです。

一生懸命になるっちゅうことは、自分が自分になること。一生懸命になれば、一人一人の違いが際（きわ）だつ。命の個性が輝き始める…。

自分が自分であること、自分として生かされていることを、もっともっと喜んでほしい。それは何にもまして素晴らしいことなんですから。

『いわずにおれない』 まど・みちお 集英社文庫より

このまど・みちおさんの詩と言葉には、一人ひとりのいのちを、そして存在をかけがえのないものとする作者の思いがあふれているように思います。柳沢中学校に入学以来、クラスや学年の仲間とこれまで過ごしてきた時間の中で、お互いの「違い」を感じることができたことでしょう。しかし、残念なことに人は自分との「違い」を認めることができず、ときに仲間外れにしたり、場合によっては攻撃してしまうことさえあります。

しかし、違いは「個性」です。一人ひとりの「命の個性」が輝くように、お互いの違いを認め合い、尊重し合うことが大切なのはいうまでもありません。

今年度もあと一か月。クラスみんなが「このクラスでよかった！」と笑顔で一年間を締めくくれるように、残された時間を大切に過ごしてほしいと思います。

□来週の予定

月/ 日（曜）	行事予定	備考
3/ 2（月）	全校朝礼 学力向上スタンプラリー	
3/ 3（火）		
3/ 4（水）	各種委員会	
3/ 5（木）	国際理解教育③④ 作品展準備	
3/ 6（金）	校内作品展始	
3/ 7（土）	土曜授業日 道徳授業地区公開講座	